

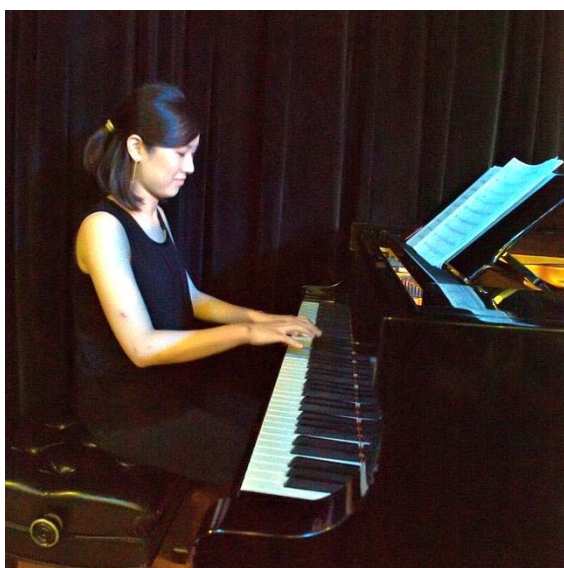
## 私の大学生活と皆さまへのメッセージ

山下 愛 (No.4426)

皆さま、こんにちは。2017年8月末に、アメリカ・ボストンにある、バークリー音楽大学を卒業しました、ピアノの山下愛です。この発行の頃は師走の忙しい時期でしょうか、いかがお過ごしですか。

この度、卒業にあたり、奨学金返還免除の申請を行い、大変ありがたいことに一部返還免除を頂きました。大変経済的に苦しい状況での留学であったので、本当に助かるなという思いと、これからの奨学生の見本になれるように、しっかり頑張らなければと、気の引き締まる想いをしております。

私が申請したのは学業成績と、在学中に行った演奏活動の記録を申請致しました。アメリカの大学はただ授業に出席していれば良いということは一切なく、出席、課題、試験等、全てがきちんと出来ていなければ良い評定はもらえません。私自身、音楽をもっと学びたいと、強い思いで行った留学だったので、授業は大変魅力的でしたが、課題や練習、試験に本当に追われて、嵐のような日々を送りました。授業だけでも大変なのに、自分自身のライブ・演奏活動、友達のライブへの出演、学内でのアルバイト、さらに異国の地で、買い物、自炊、掃除、洗濯と全てのことを一人でやらなければならない、本当に自分でもよくやったなと思いつき今日この頃です。



どうしてこんなに大変な思いをしてまで頑張れたのか、それは、やはり“音楽が好きだから”なんだろうなと思っています。正直、本当に毎日辛く苦しい日が多かったです。忙しすぎて体調を崩すこともしばしばありました。でもこの地で出会う音楽が本当に素晴らしくて、キラキラしていて、刺激的で、日本では思いもつかないようなことをたくさん学びました。入学当時26歳という少し遅いスタートでしたが、世間体や親の反対も振り切って、思い切って行ってよかったと、心の底から思っています。

でも私もこの“自分の好きなこと”を見つけ

るのに遠回りをしました。元々、子どもの頃からエレクトーンもやっており、ポピュラー音楽も好きであったのに、気づいたらクラシック音楽のレールに。日本で音大を卒業後、仕事をしながらも、何か違うという気持ちから、やっとやっと私が学びたい音楽はクラシックではなかったと気付いたのでした。

これを読んでいる奨学生の皆さん、まだまだ自分が何をしたいか悩んでいる方も多いと思います。私からのメッセージは、どうかそれを悩み続けて、何かを見つけて下さい！そして見つかったら、自分の気持ちを信じて、とにかくチャレンジして下さい！失敗したって、やってみてから後悔をすればいいのです笑 やってみてから予想外のことが起こったりもします！笑（私みたいに！）

皆さまの、明るい未来を祈念して♪



2018年春頃リリース予定 ミニアルバム “I am Ai”

詳細は、[aiyamashita-jp.com](http://aiyamashita-jp.com) にて更新致します！！